



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社ジャムコ 上場取引所 東  
 コード番号 7408 URL <https://www.jamco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大喜多 治年  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 後藤 健太郎 (TEL) 042-503-9145  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	12,475	△33.5	△2,099	—	△2,433	—	△1,831	—
2020年3月期第1四半期	18,762	△15.2	394	△72.9	110	△93.1	58	△94.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △1,872百万円( —%) 2020年3月期第1四半期 △24百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△68.29	—
2020年3月期第1四半期	2.20	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	120,603	27,964	22.8
2020年3月期	120,184	30,373	24.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 27,462百万円 2020年3月期 29,844百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としています。今後、連結業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表します。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから、未定としています。今後、連結業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表します。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	26,863,974株	2020年3月期	26,863,974株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	38,932株	2020年3月期	38,932株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	26,825,042株	2020年3月期1Q	26,825,142株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、世界的な新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）拡大の影響により企業活動が大きく制限されることになり各国経済に深刻な影響を及ぼしました。その後、各国において経済活動の再開が段階的に進められるなかで、経済活動再開後の感染者数の増加が目立ち、依然として将来の見通しについては極めて不透明な状況が続いています。このようななかで、ドル円為替相場は対米ドル円レート106円台から109円台の範囲で推移しました。

航空輸送業界では、感染症の世界的拡大の影響でかつてない規模の減便や運休などにより経営環境は大きく悪化しています。経済活動の再開に合わせて少しずつ運航を再開していますが、各エアライン共に利用客の不安を和らげるためにさまざまな感染対策をとったうえでの対応を迫られています。又、航空機メーカーにおいても、航空需要の急激な落ち込みにより、ボーイング、エアバス共に大幅な減産が実施される状況になりました。

感染症の終息時期が不明な状況下、当社グループでは、当面は厳しい経営環境が続くと想定し、将来の航空需要回復に備え全社レベルで業務プロセスの改革、生産体制の効率化を推進し、品質向上と共に収益力の向上を目指しました。又、感染防止対策を徹底すると共に、在宅勤務、シフト勤務の導入、職場における作業エリアの分散など接触率の低減に努め、急激な仕事量減少においては一時帰休など臨機応変に対処しました。

航空機内装品等製造関連・航空機シート等製造関連においては、航空需要の急激な落ち込みに対応するため、生産計画の緊急見直しや経費抑制の対策を行いました。又、お客様が航空機に搭乗する際に抱く不安を少しでも解消できるように、清潔で衛生的なキャビン作りのための製品開発にも取り組みました。

航空機器等製造関連においては、生産性改善の取り組みを進めると共に、これまで培った金属加工技術を生かし、内装品やシートの部品の内製化を進めました。又、ADP製法（炭素繊維複合材自動連続成形法）を用いた新製品の開発、他企業との協業、及び新規分野への展開を進めています。

航空機整備等関連においては、飛行安全の確保と品質向上の取り組みを継続すると共に、エアライン向け整備の拡大に努め、安定した収益を上げることのできる事業基盤の構築を目指しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高 12,475百万円（前年同四半期比 6,286百万円減）、営業損失 △2,099百万円（前年同四半期は、営業利益 394百万円）、経常損失 △2,433百万円（前年同四半期は、経常利益 110百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失 △1,831百万円（前年同四半期は、親会社株主に帰属する四半期純利益 58百万円）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間末に第2四半期連結会計期間以降の完成工事に対する工事損失引当金を 3,806百万円計上しております。この工事損失引当金による期間損益への影響は、当第1四半期連結累計期間において売上原価 198百万円の増加（2020年3月期末の工事損失引当金は 3,607百万円）となりました。

グループ全体の販売費及び一般管理費、営業外損益、特別損益の状況は次のとおりです。

販売費及び一般管理費は、保証工事費、試験研究費、販売手数料の減少などにより 1,793百万円（前年同四半期比 308百万円減）となりました。

営業外損益は、借入金の増加に伴う支払利息の増加などにより 333百万円の損（前年同四半期は、283百万円の損）となりました。

特別損益は、感染症による助成金収入 16百万円を計上しましたが、一時帰休による固定費等の操業費用を新型コロナウイルス感染症関連損失として計上したことなどにより 315百万円の損（前年同四半期は、41百万円の損）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[航空機内装品等製造関連]

当事業では、感染症拡大による影響で航空機メーカーは減産を余儀なくされたことから、ギャレー及びラバトリーの出荷が減少したことなどに加え、エアライン向けの客室改修用キットやスペアパーツ販売が減少し、前年同四半期に比べ売上高は減少しました。又、経常損益については、売上高減少などにより経常損失となりました。

この結果、航空機内装品等製造関連は、売上高 8,633百万円（前年同四半期比 5,181百万円減）、経常損失 1,367百万円（前年同四半期は、経常利益 112百万円）となりました。

[航空機シート等製造関連]

当事業では、感染症拡大による影響で顧客による納期変更などにより、前年同四半期に比べ売上高は減少しました。又、経常損益については、売上高の減少や特注品の工事損失引当金増加などにより原価が増加したことから経常損失となりました。

この結果、航空機シート等製造関連は、売上高 1,911百万円（前年同四半期比 202百万円減）、経常損失 927百万円（前年同四半期は、経常損失 28百万円）となりました。

[航空機器等製造関連]

当事業では、防衛関連を中心とした熱交換器等装備品の出荷は堅調に推移したものの、感染症拡大による影響で顧客による納期変更などにより、民間航空機向け製品の炭素繊維構造部材や航空機エンジン部品の一部出荷が第2四半期連結会計期間以降に繰り延べられたことで、前年同四半期に比べ売上高は減少しました。又、経常損益については、売上高減少などにより経常損失となりました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 824百万円（前年同四半期比 522百万円減）、経常損失 68百万円（前年同四半期は、経常損失 48百万円）となりました。

[航空機整備等関連]

当事業では、機体整備においては前年同四半期における一部プログラムの出荷増加による反動、装備品整備においては感染症拡大による影響でエアラインからのホイール、ブレーキなどの受注が減少したことにより、前年同四半期に比べ売上高は減少しました。又、経常損益については、売上高減少などにより経常損失となりました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高 1,105百万円（前年同四半期比 380百万円減）、経常損失 69百万円（前年同四半期は、経常利益 76百万円）となりました。

[その他]

その他の区分には、連結子会社の株式会社オレンジジャムコの事業を含んでおり、航空機内装品等製造関連の補助作業等セグメント間の内部取引が中心で、順調に進めることができました。

この結果、その他の区分では、売上高 0百万円（前年同四半期比 0百万円減）、経常損失 0百万円（前年同四半期は、経常損失 0百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産・負債・純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は120,603百万円となり、前連結会計年度末に比べ419百万円増加しました。内、流動資産については、仕掛品の増加(前期末比2,802百万円増)、原材料及び貯蔵品の増加(前期末比3,313百万円増)等がありましたが、現金及び預金の減少(前期末比1,952百万円減)、受取手形及び売掛金の減少(前期末比3,507百万円減)等により流動資産合計で前連結会計年度末に比べ132百万円減少しました。又、固定資産については、当第1四半期連結累計期間の投資案件が比較的少なかったことから有形固定資産の減少(前期末比243百万円減)、無形固定資産の減少(前期末比93百万円減)等がありましたが、投資その他の資産の増加(前期末比888百万円増)により固定資産合計で前連結会計年度末に比べ551百万円増加しました。

負債合計は92,639百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,828百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少(前期末比1,974百万円減)等がありましたが、短期借入金の増加(前期末比4,614百万円増)、賞与引当金の増加(前期末比813百万円増)等によるものです。

純資産合計は27,964百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,409百万円減少しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失や配当金の支払などによる利益剰余金の減少(前期末比2,368百万円減)等によるものです。この結果、自己資本比率は22.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

感染症拡大の影響に関しては、各国において経済活動が段階的に再開されていることから、徐々に回復へ向かうと予測しますが、現段階で今後の感染症拡大や終息時期等については予測できません。

当社グループが関連する航空輸送業界では、感染症の影響により各国の渡航禁止令などによる旅客需要の急減を受け、世界のエアラインの経営環境は大きく悪化しており、又、航空需要の急減を受け、航空機メーカーは大幅な減産を余儀なくされています。

航空輸送業界の動向が直接的に影響する当社にとって、感染症の終息時期が不明な現時点では、業績予想の合理的な算定が困難であることから2021年3月期の連結業績予想については未定としています。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表します。

又、2021年3月期の配当金につきましても、現段階では未定としており、業績予想の開示が可能となった段階で、業績予想とあわせて速やかに公表します。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,690,990	6,738,079
受取手形及び売掛金	31,898,770	28,391,357
商品及び製品	1,422,398	1,128,904
仕掛品	30,328,978	33,131,533
原材料及び貯蔵品	20,500,595	23,813,689
その他	4,899,335	4,416,922
貸倒引当金	△8,504	△20,356
流動資産合計	97,732,564	97,600,130
固定資産		
有形固定資産	13,766,040	13,522,681
無形固定資産	1,999,120	1,905,492
投資その他の資産	6,686,819	7,575,346
固定資産合計	22,451,980	23,003,520
資産合計	120,184,545	120,603,651
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,394,529	9,420,171
電子記録債務	9,551,128	10,041,156
短期借入金	36,386,966	41,001,273
1年内返済予定の長期借入金	1,200,000	1,200,000
未払法人税等	302,208	129,786
前受金	8,644,784	7,952,355
賞与引当金	1,642,946	2,456,120
工事損失引当金	3,607,749	3,806,419
その他	4,219,469	3,829,993
流動負債合計	76,949,782	79,837,275
固定負債		
長期借入金	3,500,000	3,500,000
退職給付に係る負債	7,282,672	7,320,623
損害補償損失引当金	987,196	977,308
その他	1,091,394	1,004,145
固定負債合計	12,861,263	12,802,078
負債合計	89,811,045	92,639,354

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,309,484	4,309,484
利益剰余金	20,483,085	18,114,782
自己株式	△31,175	△31,175
株主資本合計	30,121,288	27,752,985
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104,663	101,949
為替換算調整勘定	△41,674	△66,837
退職給付に係る調整累計額	△339,306	△325,582
その他の包括利益累計額合計	△276,318	△290,471
非支配株主持分	528,529	501,782
純資産合計	30,373,500	27,964,296
負債純資産合計	120,184,545	120,603,651

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	18,762,821	12,475,862
売上原価	16,265,199	12,781,694
売上総利益又は売上総損失(△)	2,497,621	△305,832
販売費及び一般管理費	2,102,782	1,793,794
営業利益又は営業損失(△)	394,839	△2,099,627
営業外収益		
受取利息	11,019	5,293
受取配当金	3,948	924
受取保険金	20,000	6,275
助成金収入	53,437	19,044
その他	4,187	16,373
営業外収益合計	92,592	47,911
営業外費用		
支払利息	99,490	118,363
為替差損	202,568	217,046
持分法による投資損失	5,615	2,803
支払補償費	5,259	19,787
その他	63,567	23,543
営業外費用合計	376,501	381,544
経常利益又は経常損失(△)	110,930	△2,433,260
特別利益		
助成金収入	-	16,953
特別利益合計	-	16,953
特別損失		
固定資産処分損	6,103	25,072
品質関連損失	35,335	-
新型コロナウイルス感染症関連損失	-	307,874
特別損失合計	41,438	332,946
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	69,491	△2,749,253
法人税、住民税及び事業税	118,486	24,291
法人税等調整額	△136,782	△920,038
法人税等合計	△18,296	△895,747
四半期純利益又は四半期純損失(△)	87,788	△1,853,505
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	28,870	△21,704
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	58,917	△1,831,801

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	87,788	△1,853,505
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,156	△2,713
繰延ヘッジ損益	97,722	-
為替換算調整勘定	△180,348	△30,206
退職給付に係る調整額	7,634	13,724
その他の包括利益合計	△112,147	△19,196
四半期包括利益	△24,359	△1,872,702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33,633	△1,845,954
非支配株主に係る四半期包括利益	9,274	△26,747

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

新型コロナウイルス感染症による助成金収入 16,953千円を特別利益に計上しています。

又、世界的な感染症拡大や政府による緊急事態宣言の影響等により、操業が著しく低下し、一時帰休による固定費等の操業費用を新型コロナウイルス感染症関連損失として 307,874千円を特別損失に計上しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,815,314	2,114,458	1,347,409	1,485,636	18,762,818	2	18,762,821
セグメント間の内部 売上高又は振替高	167,142	35,190	6,788	22,851	231,972	27,524	259,496
計	13,982,456	2,149,648	1,354,197	1,508,488	18,994,791	27,526	19,022,318
セグメント利益 又は損失(△)	112,948	△28,865	△48,929	76,080	111,234	△303	110,930

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	111,234
「その他」の区分の利益	△303
四半期連結損益計算書の経常利益	110,930

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,633,879	1,911,519	824,935	1,105,527	12,475,862	-	12,475,862
セグメント間の内部 売上高又は振替高	98,580	29,478	41	7,194	135,294	27,262	162,557
計	8,732,459	1,940,998	824,977	1,112,722	12,611,157	27,262	12,638,419
セグメント利益 又は損失(△)	△1,367,222	△927,983	△68,281	△69,564	△2,433,052	△207	△2,433,260

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△2,433,052
「その他」の区分の利益	△207
四半期連結損益計算書の経常利益	△2,433,260

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。